

四日市市PTA連絡協議会
発行責任者：里中 祐介
編集：鈴木 美紀

市P連ニュース

四日市市PTA連絡協議会事務局

〒510-8601 四日市市諏訪町1-5
四日市市教育委員会 教育総務課内
☎ 059-354-8236 FAX 059-354-8308
連絡時間/月・火・木・金 9:30~15:30

会員みなさまの声をお待ちしております。 四日市市PTA連絡協議会 <https://www.4pta-lc.com>

会長あいさつ

四日市市PTA連絡協議会会長 里中 祐介



日頃より四日市市PTA連絡協議会の活動にご理解とご協力を賜りまして心より感謝申し上げます。

本年度は5月に新型コロナウイルスも5類へと引下げられ、制限も緩和され少しづつではありますが私たちの取り巻く環境も変化してきております。子どもたちの学校生活や学校行事も様々開催されるようになり、笑顔で楽しんでいる姿

も多く見られるようになってきました。

また、私どもの活動も合わせて従前に戻る形で各地視察研修、講演会、各研究大会など多くの行事に参加致しました。しかしながら、コロナ禍を経験した社会情勢は今までもとまた違った形を望まれる声も少なくありません。PTA活動においても時代の変化と共にやり方を変革していく必要があると感じております。

子どもたちの教育環境をより良くしていくために学校園、地域の方々とともに相互の理解と連携を構築していくことはこれからの時代にも必要なことです。我々自身が我々のPTA活動の意義を理解し、努めていく

PTA講演会 Eスポーツ×教育の可能性



令和5年6月4日(日)四日市市文化会館第4ホールにて、eスポーツコミュニケーションズ株式会社取締役会長である寛誠一郎さんによる講演会「eスポーツ×教育の可能性」が開催されました。寛さんは、eスポーツという言葉が日本においてほとんど認識されていない時期から活動をされていまいました。なかなか認知されな

いながらも、このスポーツの可能性に自信を抱き今日まで関わってきたそうです。eスポーツという言葉は耳にする機会が徐々に増える中、海外の大手企業や日本の企業でもeスポーツを取り入れるところが増えてきています。さらには高齢者施設や障がい者施設にプログラムが導入されたり、行政がメタバースなどを取り込んだりすることで、さらに加速、拡大していく可能性があると分かってきました。今回の講演のテーマでもある教育の可能性としては、不登校の生徒がeスポーツを通じて登校のきっかけを掴むことで親の悩みの解決の糸口になるとのことです。eスポーツが様々なジャンルに取り入れられることで将来に可能性を秘めているものだとすることがわかりました。素晴らしいご講演ありがとうございました。

と同時に、誰もが参画しやすい環境を創り上げていかねばなりません。今後とも良い学びと成長を得ることを目的に、共に過ごす私たち保護者、先生方、地域の皆さまがお互いの環境を知り、限りある時間を有意義に過ごし助け合える仕組みを目指して活動して参ります。

最後になりますが、子どもたちの更なる成長と、ご家庭の幸せ、関係各所のご発展を祈念し私の挨拶と代えさせていただきます。一年間、誠にありがとうございました。



幼保園
委員会
講演会

令和5年11月13日(日)四日市市文化会館第3ホールにて、子ども園幼稚園委員会講演会が開催されました。講師には三重県立看護大学看護学部教授の宮崎つた子さんをお招きし、「子どもの成長発達と毎日の生活習慣―子どもたちの脳が疲れている?―」のテーマで、乳児期から幼児期にかけて大切にしたい生活習慣や自己肯定感の育て方などについてわかりやすくお話いただきました。

日本人は子どもも大人も睡眠が足りていない、その理由に寝る直前までのスマホの利用が挙げられます。添い寝で寝かしつける大人がスマホを使っていると、隣で寝ている子どもも自然とその光を感じてしまい深い眠りが妨げられてしまうので、結果的に子どもも睡眠の質が落ちてしまいます。睡眠は心身の疲労回復を促し、成長発達の基礎となるものです。どちらかという



「家庭の日」啓発事業
令和5年11月26日(日)四日市市文化会館第2ホールにて「家庭の日」啓発事業が開催されました。まず初めに、三重子どもわかもの育成財団主催の中学生のメッセージ2023(第45回)少年の主張三重県

大会)優秀賞の西朝明中学校3年生、辻明日薫さんによる「男女差別について」のメッセージ発表がありました。辻さんは学校生活や家庭内で男女の格差を感じて苦しんだ時期もありました。しかし、人には向き不向きがあり、適材適所に分担することで格差がなくなることを知り、男女で考えるのではなく一人の人間として接することで分かり合えると思えるようになり、この考えの基に行動し社会に貢献しようと思うと自身の体験を織り交ぜて発表していただきました。



中学校委員会講演会
LGBTと多様性
私たち大人にできること

その後、「育児ストレスを軽減する!ママ・パパがリラックスできる子育てのポイント」で育つ自己肯定感」をテーマに、「12人産んだ」助産師HISAKOさん・パートナーMARKさんによる講演会が開催されました。出離子に吉本新喜劇のテーマ曲が流れ、お二人によるコントの様な掛け合いが始まりました。



広報紙コンクール
令和6年2月17日(土)四日市市文化会館第3ホールにて、令和5年度四日市市PTA連絡協議会広報紙コンクール表彰式が開催されました。

ここに厳正なる審査の結果、入賞校のご報告をいたします。
本年度は幼・小・中合わせて15校園の応募がありました。どれも各校の様子やPTA活動のそれぞれがユニークに紹介されている素晴らしい作品で、広報紙を作成された皆様の思いが集結されていたように感じました。



令和5年度
広報紙最優秀賞
川島小学校
「さんぼみち」

- 最優秀賞 川島小学校「さんぼみち」
- 中日新聞四日市ホームニュース賞 中央小学校「飛翔」
- 優秀賞 羽津北小学校「けやき」
- 表紙部門賞 富田小学校「しおかぜ」
- レイアウト部門賞 富洲原小学校「すずかけ」
- 企画部門賞 西朝明中学校「にしあさけ」
- 入選 羽津小学校「しでがの」
- 八郷西小学校「竹の子」

東北陸研究ブロック大会 福井大会



令和5年10月21日(土)、第79回日本PTA東海北陸ブロック研究大会福井大会、「新時代への挑戦」PTAの価値の再挑戦」が開催されました。新型コロナウイルス感染症の発生による事業の自粛や縮小、会員の価値観の多様化、教職員の働き方改革、ICT教育の導入などにより大きな変革期を迎えるPTA活動のこれからの役割について、発表、パネルディスカッション、講演がありました。

午前中に開催された分科会では、東海、北陸地方の中学校12校の実践発表が福井県内6ヶ所で行われました。参加した第4分科会は「学校支援」がテーマであり、夏祭りやキャリア教育といった学校で行われる行事にPTAがどのように関わってきたかの発表がありました。どちらの学校



令和5年度市長・教育長 感謝状贈呈者

青原 尚生(海蔵小学校)
伊藤 悟(県小学校)
伊藤 僚祐(川島小学校)
藤田 俊之(三重北小学校)
田中 嘉文(内部中学校)
安井 孝二(山手中学校)
市川 稔規(大矢知興譲小学校)
寺本真由美(塩浜小学校)
葛西 俊昭(泊山小学校)
小畑 貴一(橋北中学校)
仲野 結(大池中学校)
藤田 嘉彦(常磐中学校)
その他一名
PTA活動にご尽力いただきました方々に、心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。



廣瀬教育長から受賞者代表田中様へ感謝状が贈呈されました

総務委員会

総務委員は、市P連の総務委員と北部・中部・南部の各ブロック長、副ブロック長ならびに教職員代表の先生で構成され、常任委員会の進行、ブロック会の運営などに携わってまいりました。特に約3年間、新型コロナウイルス感染症の影響により、これまでとは異なった生活様式の中で子どもたちは学校生活を送ってきました。これはPTA活動にも大きな制約がかけられました。5月に特定感染症の扱いが第2類から5類に移行し、今までの生活に戻りつつある中すべての行事を戻すのではなく、生活の変化に応じてPTA自身が課題を見つけ検討し、変化に対応すべく活動を行ってまいりました。昨年度より継続しているオンラインを活用した会議など良いものは

は継続しつつ、より関連な意見交換を行い共通の問題について話し合えるブロック会は現地開催のみにするなど、家庭・学校・地域が協力し合った活動ができたと思います。PTAを通じて沢山の方々に出会えたことを感謝しております。

吉田 洋一 (委員長・羽津小P)
西村 太希 (副委員長・四郷小P)
佐藤麻由子 (副委員長・笹川中P)
藤堂英太郎(大矢知興譲小P)
大河内由紀恵(大谷台小P)
平安幸(大矢知興譲小P)
渡辺 理沙(常磐中P)
割子田 浩(三滝中P)
長濱 太(塩浜中P)
井谷佳奈樹(泊山小P)
里中 祐介 (市P連会長・小山田小P)



中学校委員会

中学校委員会では、二つの活動に重点を置きました。一つ目は、中学校の保護者や教職員を対象に、「LGBTと多様性」について講師をお招きして四日市市文化会館にて講演会を開催しました。参加された方のアンケートには「とても分かりやすく良かった」「自分の友達にもいて珍しいことではないので話が聞いて良かった」等の意見があったので、今回講演会ができて良かったと思えました。二つ目は高校展の開催で

す。普段あまりお会いすることの少ない高校の先生に直接お話を伺うことができ、また各校の情報を得る良い機会になったと思います。委員の皆様には、委員活動や高校展のお手伝いにご協力を頂き感謝しております。ありがとうございました。

中西 篤子 (委員長・南中P)
中村 幸恵 (副委員長・富田中P)
加藤 綾子(富洲原中P)
大久保 直(港中P)
前田 絃子(楠中P)
辻 清司(西朝明中T)



小学校委員会

小学校委員会では、今年度「ヘルメットの努力義務化に伴う自転車の安全について」をテーマに小学校委員会だよりを発行して活動してきました。アンケート調査、集計をすることで現状を知っていただき、ヘルメットの着用を含めて、改めて家族の安心安全について、お子さんと一緒に考えてもらう機会になればとの思いで作成いたしました。ぜひご家庭で一読下さい。今年度はラインワークスやゲーグルフォームを活用し、充実した便りを発行することが出来ました。小学校委員会の皆様には、お忙しい中、積極的に委員会活動にご協力頂き、本当にありがとうございました。

川崎 京子 (委員長・中央小P)
金山 知子 (副委員長・桜中P)
平田 恭子(保々小P)
石原 文枝(常磐西小P)

こども園幼稚園委員会

当委員会は、幼児の子育てをされている保護者の皆様、就学前教育の場で働いておられる園の皆様とともに、本部役員2名と、各ブロックから選出された委員の方3名の計5名を中心に活動を行いました。本年度は、アフターコロナへ生活様式が変わる中で、各委員のライフスタイルを考慮し、対面での会合に加えて、オンラインでの意見・情報交換を組み合わせた活動を行いました。具体的には、講演会の開催と、委員会だよりの発行に取り組みしました。講演会は、大学教育の第一線で活躍中の先生をお招きし、子育てに関して有益な情報を参加者へ提供し、気づきを得て頂くことを目的に開催しました。また委員会だよりは、今年度の活動を振り返り、皆様の委員会活動への理解の促進に繋げたく作成しました。多くの方々にご支援、ご協力を頂きました。全ての方々に感謝申し上げます。

佐藤 豪一 (委員長・桜台小P)
吉富 睦洋 (副委員長・羽津中P)
寺本 美香 (八郷中央幼稚園P)
中津 可歩 (常磐中央幼稚園P)
蘭田亜沙美 (塩浜こども園P)



松島 久子(笹川小P)
田中 敏貴(中央小T)

広報委員会

広報委員会の主な活動は、この市P連ニュースの発行と広報紙コンクルールの開催です。広報紙コンクルールには、今年度も多くの学校、園からご応募いただきました。今年度は学校行事もだいぶ復活したこともあり、子どもたちの笑顔であふれる、楽しそうな様子が伝わってくる素晴らしい広報紙ばかりでした。委員の皆さんのご協力のおかげで一年間楽しく活動することができました。また、市P連ニュースの作成にあたりご協力いただきました皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。

鈴木 美紀 (委員長・富洲原小P)
鈴木 恵介 (副委員長・浜田小P)
多湖 美季(山手中P)
古家 正誠(常磐小P)
小林 千恵(内部小P)
植田美有紀(水沢小T)



顧問・参与・相談役

市P連顧問として、先生方には子どもたちの育成と健全な成長のため、学校と保護者を繋ぐ架け橋として温かいご支援・ご指導をいただきましました。また市P連本部役員からも顧問・参与・相談役として、助言やフォローすることに尽力して頂きました。1年間ありがとうございました。

米川 崇先生 (顧問・常磐中学校)
諸戸 美香先生 (顧問・常磐西小学校)
加藤田美子先生 (顧問・羽津幼稚園)
寺本真由美 (顧問・前市P連会長)
杉戸 雅巳 (参与・元市P連会長)
岸田 諭祀 (相談役・元市P連会長)
生川あかね (相談役・前市P連副会長)
小畑 貴一 (相談役・前市P連副会長)

第七回三四地区 高校展

令和5年11月4日(土)四日市市三浜文化会館にて、第七回三四地区「高校展」が開催され、前年に増して多くの児童、生徒、保護者、教職員の方にご来場いただきました。県立、私立高校の各ブースでは、高校の先生に直接質問が出来るという年に一度しかない貴重な時間と捉え、活発に質問が飛び交っておりました。また、前年のアンケートで好評をいただいた各学校の制服の展示があり、自分が目指す高校の制服を目の前で見ることで、進学イメージを膨らませている様子も伺えました。来年も各学校関係者の参加人数や、運営について事前に調整し、より良い「高校展」が開催できるように考えていきたいと思っております。関わっていただいた皆様に感謝申し上げます。



PTA会員寄稿

私事ですが、今年中学生になった息子の体育祭に行ってきました。初めて観る中学校の体育祭でしたが、小学生の頃のかわいい感じとはまた違って迫力もあり楽しめました。中でもリレーは特に盛り上がりました。一年生と三年生を見比べると三年生はとて大きく立派に見えました。体育祭当日は、9月下旬で天気予報では曇りのはずでしたが、段々と晴れてとても暑かったです。観覧席のテントは小さくて保護者全員が入れることはなく、各々がテントや日陰で休憩したり日傘をさしたりして観覧していました。私達も日陰になる所を探し休憩していました。その時にご兄弟がお母さん達からこんな話がありました。「昔は正面から観れてテントの下で椅子もあって良かったね。」「今年は猛暑で大変だったから9月と決めず10月でもよかったのではないかな？」などです。あまりの暑さで熱中症、脱水症状にならないか少し心配もありましたが、何よりも体育祭が無事に終わり良かったです。生き生きとした一生懸命に頑張る子ども達の姿が観られてとても嬉しく思いました。

編集後記

今年度も「市P連ニュース」を無事に発行することができました。5月に新型コロナウイルスが5類感染症に移行されたことで、昨年度までオンラインでの開催を余儀なくされた市P連主催の講演会等も、今年度は全て集合型で開催することができました。画面越しではなく、笑顔で挨拶を交わす、会話が生まれるなど、一堂に会することで改めて人との繋がりの良さ、大切さを実感することができました。何より一緒に講演を聴いたり子どもたちについて話し合ったりすることで、子育てにおいて共感し合える「繋がり」があるという安心感をもつことができました。感染症防止対策を講じなければならなかった時期を経て、改めて本当に大切なものを実感することができたように思います。これからも市P連活動が子どもたちのために益々充実することを願い、編集後記とさせていただきます。最後にありますが、この紙面を作成するにあたり、たくさんの方々にご協力いただきましたことに感謝申し上げます。ありがとうございました。

市P連ホームページ

P連ホームページでは、当協議会の活動や役割などについて掲載しています。ぜひご覧ください。



https://www.4pta-lc.com/